



「古典探究」や「現代社会」の授業において、ユニットカリキュラムを実施！

普通科
探究科

普通科2年次の理系コースを対象とした古典探究の授業において、地理歴史科(日本史)とのユニットカリキュラムを実施しました。古典探究の授業では、藤原道長の栄華を描いた歴史物語「大鏡」において、菅原道真が大宰府に左遷される場面を学んでいます。2年3組は11月15日(水)、2年4組は11月13日(月)の授業で実施したユニットカリキュラムでは、地理歴史科(日本史)の教員から、藤原北家が権力を握っていく過程で起こった出来事や、その時代の背景について学びました。生徒は、こうした学びをもとにして、作者が「大鏡」を書き残した理由を考えることができました。



藤原北家の隆盛について学ぶ2年次生

普通科3年次の文系コースと人文社会科学科3年次を対象とした選択科目である現代社会の授業では、数学科とのユニットカリキュラムを実施しました。3年1組と2組の生徒は11月20日(月)、3年5組の生徒は11月15日(水)に受講した授業では、銀行が社会的信用を背景に、預金量を超える資金を貸し出す仕組みである「信用創造」について、数学科の教員が教科書に示された計算式の扱い方や考え方を解説しました。大学への入学に向けて、受験が近づいてきた3年次生にとって、より深い学びは夢の実現につながります。このたびの貴重な機会を、しっかり生かしてくれることを期待します。

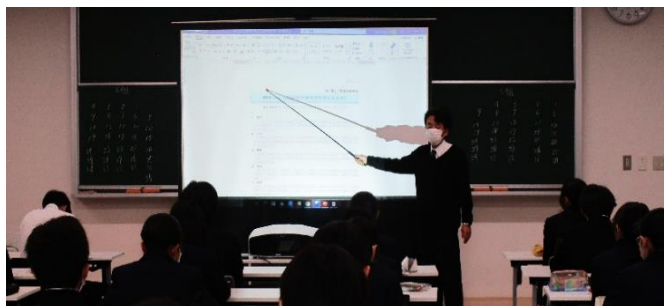


預金総額を求める方法を理解する3年次生

探究科の2年次生を対象とした、発展探究校内発表会のガイダンス等を開催！

探究科

発展探究の授業で課題研究に取り組んでいる探究科の2年次生は、1月25日(木)に、1年間の研究成果を披露する発展探究校内発表会を迎えます。この発表会に向けたガイダンスを11月15日(水)に開催しました。ガイダンスでは、それぞれの研究班が発表会で用いる研究要旨やスライドの作り方、配布する資料の提出方法について説明がありました。さらに、研究成果が伝わる発表とするために、どのような工夫をすればよいのかなどを考えました。



研究要旨について、項目に分けて記述する方法等を学ぶ探究科の2年次生

また、ガイダンスでは、年度末に向けて作成する研究論文やポスターの書き方についても説明がありました。2年次生が初めて記述する研究論文は、内容を項目に分けて論理的に文章を展開していくことが求められます。これから様々な形態の課題研究発表会への参加や、論文コンテストへの出品を行います。こうした活動を通じて、みなさん一人ひとりが、研究を通じて身に付けてきた課題を発見する力や課題を解決する力に加え、成果を表現する力の向上に努めてくれることを期待します。

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科を対象としたプログラムです。

日本情報オリンピックに、探究科の生徒3人が挑戦しました。

普通科

探究科

第23回日本情報オリンピック(JIO2023/2024)の一次予選に探究科の1年次生3人がチャレンジし、1人が二次予選に進むことができました。日本情報オリンピックは高等学校2年生までを対象とした、競技プログラマー日本一を決定するコンテストです。一次予選の後、二次予選、本選を勝ち抜くと、国際情報オリンピック(IOI2024)やアジア太平洋情報オリンピック(PAIO2024)等の国際大会に参加することができます。



第23回日本情報オリンピックに参加した生徒

今年度の一次予選は、9月16日(土)、10月15日(日)、11月18日(土)の3回行われ、いずれかで基準点以上(400点満点の問題で、300点以上)の成績を上げると二次予選に進むことができました。出題される課題は、高等学校程度の数学の学力とプログラミングの技術が求められます。一次予選に参加した生徒は、出題された4つの課題を解決するためのソースコードをそれぞれつくり、アップロードしました。一次予選を通過した生徒1人は、12月10日(日)にオンラインで開催される二次予選に臨みます。健闘を期待します。



オンラインで問題に挑戦する生徒

高校生によるSDGsに関する感想文コンテストで、探究科の1年次生が特賞を受賞!

普通科

探究科

第30回高校生によるSDGsに関する感想文コンテストの審査結果が、10月27日(金)に発表され、探究科の1年次生1人が特賞(日本国際連合協会山口県本部長賞)を受賞しました。日本国際連合協会山口県本部が主催する本コンテストは、持続可能な開発目標(SDGs)の17の目標から1つを選択し、選択した開発目標について、学校、家庭、社会などにおける執筆者の学習や体験あるいは実践などについての感想を募集したものです。コンクールには、探究科の1年次生2人が応募しました。特賞を受賞した生徒は、4月に参加した西高海峡ディスカバリーで、下関市立しものせき水族館海響館を訪問した際、多様な魚類が共生している水槽を見て、SDGsの14番目の目標である「海の豊かさを守ろう」を達成するための方法を考え、応募しました。国際連合が定めた、SDGsの17の目標は、2030年までに達成することが求められており、行政や企業等でも様々な取組が行われています。生徒のみなさんも、多様な視点から17の目標を達成する方法を考え、実行してみましょう。



特選を受賞した生徒

山口県統計グラフコンクールで、普通科の2年次生が佳作を受賞!

普通科

探究科

令和5年度山口県統計グラフコンクールの審査結果が、10月23日(月)に発表され、普通科の2年次生2人が応募した作品が第5部(高等学校以上の生徒、学生及び一般)で佳作を受賞しました。山口県統計協会等が主催する本コンクールは、統計に関わる知識の普及と統計の表現技術の研さんを目的として開催されたもので、今年度は、山口県内から94作品の応募がありました。普通科の2年次生2人が出品した作品は、下関市内の道端などに捨てられているゴミをテーマとしたもので、アンケート調査の結果をもとに、丁寧に考察した結果をポスターにまとめました。見慣れた事象の中にも、このように探究活動の対象があります。生徒のみなさんが、身近な事象に興味・関心をもって、活動してくれることに期待します。

普通科

は普通科を、

探究科

は探究科を対象としたプログラムです。